

2016年7月吉日  
株式会社加島美術

## 写真家 六田知弘展 「火・風ノ貌 KA・FU NO BO」

偶然と必然の間に・地/水/火/風/空

株式会社加島美術(東京都中央区、代表取締役：加島林衛)は、六田知弘展「火・風ノ貌 KA・FU NO BO」偶然と必然の間に・地/水/火/風/空 を2016年9月10日(土)～2016年9月24日(土)まで東京・京橋にて開催致します。



### ■ 展示概要 (開催の背景)

日本人は古来より自然界の万物に神秘性を見だし、信仰や畏怖の念を持つ対象として捉えてきました。本企画はその日本人独自の自然観・思想を背景に、新たな表現を試みる写真家 六田知弘氏の連続企画です。全体のテーマは「宇宙を構成する五大原素 - 地水火風空」とし、日本人の自然観、自然信仰を背景に撮影した作品を展示致します。最終章となる本展では「火・風」の神秘性とエネルギーに満ちあふれた世界を約35点展示、販売致します。

六田氏は自らの言葉でこう記しています。「カメラをにぎる時、私は一個の受信機になる。日常の意識を下げて五感を開き、被写体が発する波動を感知して、それに自らをシンクロさせることができたとき、止めどなく変化し続けるそれら現象の世界の内に隠された「宇宙の秘密のかけら」が、向こうのほうから写り込んでくれる。そう信じて、シャッターを押し続ける。」

日常の中で形として捉えている、眼に見えている世界ではなく、自我や肉体を超越した境界にあってこそ得られる感覚を、本展を通じてご体感いただければと思います。

自然と対峙、交感し続ける写真家・六田知弘氏の表現における新境地をご堪能ください。

## ■写真家 六田知弘（むだ ともひろ）

ヒマラヤの村に暮らして撮影した「ひかりの素足-シェルパ」以来「自然や宇宙との根源的なつながり」を遠くに探りながら、モノ、風景、人物など様々な事象を対象に撮影し、写真展や出版を通じて発表。仏像などの日本美術のほかヨーロッパ中世美術、雲岡石窟等の仏教遺跡など、文化財、古美術品の撮影も多く手がける。

- ・ 1956年 奈良県に生まれる。
- ・ 1980年 早稲田大学教育学部卒業。
- ・ 1982年よりネパールヒマラヤ山中のシェルパの村に暮らして撮影。
- ・ 1988年 最初の個展「ひかりの素足-シェルパ」（新宿ニコンサロン）を開催。

### 【主な写真展】

- ・ 2007年「祈りの中世 ロマネスク美術写真展」（国立西洋美術館／東京）
- ・ 2008年「祈りの道 サンティアゴ巡礼の道と熊野古道」 ルイス・オカニャとの二人展（和歌山県田辺、パリ、サンティアゴ、東京を巡回）
- ・ 2009年「シトーの光」（繭山龍泉堂／東京）
- ・ 2009年「Clair Obscur」（Galerie Frédéric Moisan／パリ）
- ・ 2010年「壁の記憶」（丸の内ギャラリー／東京）
- ・ 2011年「雲岡 仏宇宙」（繭山龍泉堂／東京）
- ・ 2012年「OKUGAKE」（金峯山寺本地堂／奈良県吉野山）
- ・ 2013年「LES MURS DU TEMPS」（Galerie Yoshii／パリ）
- ・ 2013年/2014年「3.11 時のアイコン 東日本大震災の記憶」（相田みつを美術館/渋谷区立松濤美術館）
- ・ 2014年「蓮一清らかな東アジアのやきもの×写真家・六田知弘の眼」（大阪市立東洋陶磁美術館／大阪）
- ・ 2014年 写真家 六田知弘展「水ノ貌 MIZU NO BO」（加島美術／東京）
- ・ 2015年 六田知弘写真展「ボロブドゥール Borobudur」（繭山龍泉堂／東京）
- ・ 2015年 写真家 六田知弘展「地・空ノ貌 CHI・KU NO BO」（加島美術／東京）
- ・ 2015年 六田知弘写真展「壁」（ギャラリー古今／東京）
- ・ 2016年 六田知弘写真展「Icons of Time Memories of the Tsunami that Struck Japan Photographs by Tomohiro Muda」（The Japan Foundation Gallery, Sydney／オーストラリア）
- ・ 2009年より写真展「サンティアゴ巡礼の道 六田知弘 東洋のまなざし」がヨーロッパ各地を巡回中

### 【主な写真集】

- ・ 「ひかりの素足-シェルパ」 IPC 刊
- ・ 「ボリの肖像」 シングルカット刊
- ・ 「In Praise of Japanese Beauty / Japanese Aesthetics Through the Lens of Tomohiro Muda」 コエランス刊
- ・ 「雲岡石窟 仏宇宙」 富山房インターナショナル刊
- ・ 「OKUGAKE」 LLP ブックエンド刊
- ・ 「石と光 シトーのロマネスク聖堂」 平凡社刊
- ・ 「時のアイコン 東日本大震災の記憶」 平凡社刊

## ■加島美術のご紹介

絵画・掛軸などの日本美術を中心に現代美術まで取り扱っております。

また、各地の有名百貨店において展示即売を催す一方、全国の美術館、博物館へも作品を納入しております。日本の中世、近世そして近代の書画及び絵画まで広く一般に紹介し、日本の文化を継承し、その保存にも役立っていきたいと考えております。

### 【コンテンポラリーアート 紹介作家の方針について】

日本古美術の美術商として長年培ってきた2つの眼「真美眼」と「審美眼」。

時空を超えて複雑に連動する2つの“眼”を活かし、多彩な現代作家を紹介しております。

## ■展示会 基本情報

名称：写真家 六田知弘展

「火・風ノ貌 KA・FU NO BO」

偶然と必然の間に・地/水/火/風/空

特設サイト：[http://www.kashima-arts.co.jp/events/ka-fu\\_no\\_bo/index.html](http://www.kashima-arts.co.jp/events/ka-fu_no_bo/index.html)

会期：2016年9月10日(土)～9月24日(土)

オープニングレセプション：2016年9月9日(金) 18:00

会場：株式会社 加島美術

〒104-0031

東京都中央区京橋 3-3-2 (東京スクエアガーデン脇)

TEL：03-3276-0700 FAX：03-3276-0701

地下鉄銀座線 「京橋駅」 出口3 徒歩1分

地下鉄有楽町線 「銀座一丁目駅」 出口7 徒歩2分

都営地下鉄浅草線 「宝町駅」 A4 徒歩5分

JR 東京駅 八重洲南口 徒歩6分

休廊日：会期中無休

開廊時間：午前10時～午後6時

主催：株式会社 加島美術

観覧料：無料

展示点数：約35点

## ■展示会中イベント

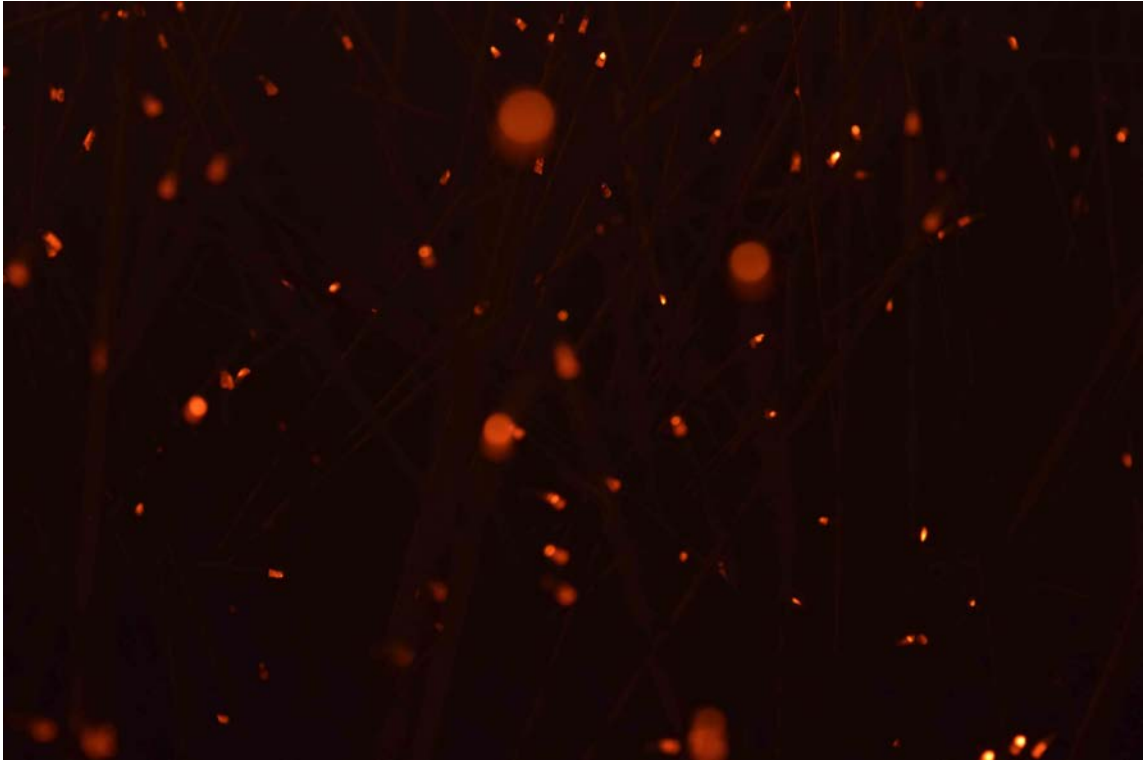
六田知弘氏ご自身によるギャラリートークを予定しております。

自身の作品への思いやエピソードについて、実際の作品をご覧にいれながらご紹介します。

日時：9月10日(土)・11日(日) どちらも14:00～

会場：加島美術

※事前申し込み不要どなたでもご参加いただけます。





## ■会社概要

商号 : 株式会社加島美術  
所在地 : 〒104-0031 東京都中央区京橋 3-3-2  
代表者 : 代表取締役 加島 林衛  
設立 : 1988(昭和 63)年 9 月 30 日  
事業内容 : 美術品販売  
          ギャラリー運営  
          美術関連イベントの企画開催  
          美術関連の総合アドバイザリング  
          美術品査定  
資本金 : 1,000 万円  
URL : <http://kashima-arts.co.jp/index.html>

## ■お問い合わせ

株式会社 加島美術  
担当 : 宣伝・広報 澤田梨絵  
Tel : 03-3276-0700  
E-Mail : [r-sawada@kashima-arts.co.jp](mailto:r-sawada@kashima-arts.co.jp)

画像を使用いただく際は、お気軽にお問い合わせをお願いいたします。

